

【熊本県賞】

熊本の誇り

私は熊本の、地下水が湧いている綺麗な透き通った川が大好きだ。私はこの熊本の自慢である地下水を、守っていききたい。

去年の夏、とても暑い日に私は母と、いとこと、いとこの親で、いとこの家の近くの川に遊びに行った。その川は地下水が湧き出していて、とても透き通っていてとても綺麗だった。水はとても冷たかったが、どのような感じか気になり、私はゴーグルをつけ、生まれて初めて川に潜った。今でもはつきりと覚えている。遠く離れたところまではつきり見えるくらい透き通っており、少し離れたところに魚が泳いでいた。ずっと水に浸かっていたらとても寒かったけれど、寒いということより、もっと水に潜ってあの景色を見ていたいという気持ちが勝ってしまうくらい、とても綺麗だった。これが地下水を守っていききたいと思った一つの出来事だ。あと一つ守っていききたいと思いたくなる体験がある。二つ目は、昔、四〇〇年以上、八代で受け継がれてきた宮地手漉き和紙について学習した時のことだ。私達は実際に、作る時に使っている川や道具、和紙の原料となるコウゾという植物などを見に行きました。その説明をしてくださっていた人は、

「和紙を作るのには、綺麗な水が必要不可欠です。」

と言っていた。和紙は私達のととても大切な、四〇〇年以上受け継がれてきた文化だ。そしてこれからも受け継いでいくためには、和紙にとって必要不可欠である綺麗な水を、私達で、ずっと守っていくことではないかと私は考える。

私達が毎日、当たり前のように使っている地下水は山などから私達のところに到達するまで、どれくらいの間、年月がかかるのかというのを最近、学校で見た動画で知った。なんと阿蘇山から私達が住んでいるところまで約二〇年、白川中流域から私達が住んでいるところまで、早くて五年、長くて十年くらいかかるそうだ。私はそれを知った時、自

熊本県 八代市立第八中学校 二年 上田 真子

分の予想よりも長くて、とても、びっくりした。そしてその動画で、なぜ熊本には地下水が豊富なのかも学んだ。熊本県の降水量は年間約二〇〇〇ミリで、特に阿蘇山付近では、年間で三二〇〇ミリに達していて、全国の平均を上回っているそうだ。降水量のほかにも、熊本地域は、古代阿蘇山の噴火による堆積物により非常に水を透しやすい特徴を持っている、蓄えやすい地層になっている、などのおかげで、熊本には地下水が豊富だということを知らなかった。けれど最近、熊本の地下水が減少している。ということを知りました。原因は、近年の都市化の進展、転作による水田の作付面積の減少などだそうだ。熊本の大切な地下水を守る活動として、野菜やお米などを収穫した後や、作物を植える前の一定期間、水田に水を張って地下へ染み込ませることで、地下水を守る活動を行っているそうだ。ほかに「ウォーターオフセット」という、地下水を育む田畑で栽培された農作物や、それを食べて育った畜産物を購入、消費することで、地下水保全につながるという取り組みも行っているそうだ。

私達にとって熊本の地下水は、とても大切なものであり、必要不可欠なものである。綺麗な川や、手漉き和紙なども、ずっと大切にしていきたい。熊本の地下水は私達の自慢であり、誇りである。